



“讃”平和を讃えて

広島交響楽団

第400回

記念定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 400th Subscription Concert



クリスティアン・アルミンク
Christian Arming

下野竜也
Tatsuya Shimono

秋山和慶
Kazuyoshi Akiyama

ピアノ ©アール・アン・フィニ
横山幸雄*
Piano
Yukio Yokoyama*



エリザベト音楽大学合唱団、ひろしまオペラ・ルネサンス合唱団
Elisabeth University of Music Choir, Hiroshima Opera Renaissance Chorus

独唱 Sop I: 岩原綾子 Sop II: 山下茉莉乃 久保里咲子 Alt: 吉原未来
Solo Ayako Iwahara Marino Yamashita Rieko Kubo Miku Yoshihara
Ten I: 大迫和磨 Ten II: 山崎雄太 Bass: ジョセフ・ジョン・ピタス
Kazuma Osako Yuta Yamasaki Joseph John Pitas



2020.5.24(日)

15:00開演 [14:00開場]

Sun May 24, 2020 Start 15:00 [Open 14:00]

広島文化学園HBGホール

広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

チケット(税込/全席指定) チケット発売日/2020年3月24日(火)

S席5,300円・A席4,800円・B席4,300円(学生1,500円)

※学生席は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広警事務局のみで取り扱い)

ブレイガイド

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店ブレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン

広島アーツ楽器・ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場

ローソンチケット(Lコード:62788)・チケットぴあ(Pコード:174-995)

中国新聞社読者広報部・中国新聞販売所(取り寄せ)・広警事務局

第400回記念ガラ

三善 晃: 祝典序曲(下野 指揮)

Akira Miyoshi: Festival Overture

モーツァルト: ディヴェルティメント ヘ長調K.138(秋山 指揮)

Mozart: Divertimento in F major K.138

ベートーヴェン: 合唱幻想曲ハ短調作品80(アルミンク 指揮)*

Beethoven: Fantasy for Piano, Chorus and Orchestra in C minor Op.80*

R.シュトラウス: 楽劇「サロメ」〜7つのヴェールの踊り TrV215a(アルミンク 指揮)

R. Strauss: Salome ~ Dance of the Seven Veils TrV215a

歌劇「カプリッチョ」TrV279〜前奏曲、月光の音楽(下野 指揮)

Capriccio TrV279 ~ Prelude, Moonlight Music

歌劇「ばらの騎士」組曲 TrV227d(秋山 指揮)

Der Rosenkavalier, Suite TrV227d

*コンサートマスター: 佐久間聡一、蔵川瑠美

Concertmaster: Soichi Sakuma, Rumi Kurakawa

主 催 | 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助 成 | 公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団

プレミアム協賛 | youme

後 援 | 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

お問い合わせ | 広警事務局 TEL:082-532-3080

HP: <http://hirokyo.or.jp>

広警公式ホームページ▶



beyond
2020

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れた場合、入場に制限がございます。



1963年の創立以来57年かけて回数を積み上げた定期演奏会もついに「第400回」を迎える。しかも広響3指揮者によるガラコンサートとは前代未聞!ファンならずとも聴く価値あり。祝典序曲のリレーでアンカーをつとめるのは下野竜也。三善晃、幻の意欲作だ。続いて秋山指揮のモーツァルトにベートーヴェンの生誕250周年を讃えるアルミンク指揮、横山幸雄ピアノの合唱幻想曲。後半はR.シュトラウスの管弦楽3作をそれぞれの指揮者が振り分ける。巧妙にしてユニークな下野の司会も聞きどころの一つだ。



【音楽総監督】 下野 竜也 Tatsuya Shimono

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月〜)、広島ウインド・オーケストラ音楽監督(2011年1月〜)。
鹿兒島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、ローマ・サンタ・チェチリア国立アカデミー管、チェコフィルハーモニー管、シュツットガルト放送管、シリコンバレー響など国際舞台での活躍が目覚ましい。これまでに読売日本交響楽団初代正指揮者、同首席客演指揮者、京都市交響楽団常任客演指揮者、同常任首席客演指揮者を歴任。京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授、東京音楽大学吹奏楽アカデミー特任教授、東京藝術大学音楽学部指揮科非常勤講師として後進の指導にもあたる。
太鼓芸能集団「鼓童」ミュージックアドバイザー。
鹿兒島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>



【首席客演指揮者】 クリスティアン・アルミンク Christian Arming

ウィーン生まれ。レオポルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場の音楽監督などを経て、2003〜13年に新日本フィル、2011〜19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍。2017年からは、広島交響楽団の首席客演指揮者を務めている。
これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送管、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルト管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマン管、ボストン響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスブールの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年には小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトで小澤征爾と共に《カルメン》全4公演を指揮。2020年はモンペリエ国立歌劇場で新演目の《ナクス島のアリアドネ》を指揮する。



【終身名誉指揮者】 秋山 和慶 Kazuyoshi Akiyama

1941年生まれ。アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現任桂冠指揮者)、シラキウス響音楽監督、東京響音楽監督・常任指揮者、大阪フィル首席指揮者、札幌響首席指揮者、広島響首席指揮者、九州響首席指揮者などを歴任。これまでにサントリー音楽賞、渡邊暁雄音楽基金特別賞、川崎市文化賞をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽大賞、モービル音楽賞を受賞。2001年紫綬褒章、2011年旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出、また中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞。2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー(2020年4月より)、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授など多くの任を務めている。



【ピアノ】 横山 幸雄 Piano / Yukio Yokoyama

1990年ショパン国際ピアノコンクールにおいて歴代の日本人として最年少入賞を果たし、文化庁芸術選奨文部大臣新人賞など数多くの賞を受賞。ポーランド政府より「ショパン・パスポート」を授与。自ら企画する「入魂のショパン」はギネス世界記録に認定され、2019年の第10回記念公演は、3日間でショパンの全作品を演奏する前人未踏のプロジェクトとして大成功をおさめ、その記録をDVDとしてリリース。更にベートーヴェン生誕 250周年「ベートーヴェン・プラス」や「4大ピアノ協奏曲」の一挙演奏といった継続的に開催される意欲的な企画は高く評価される。2015年パリにてラヴェルの全ピアノ独奏曲演奏会、2018年ポーランドリサイタルツアー、2019年ルイーダ指揮デンマーク国立交響楽団公演など海外にも活躍の場を広げる。これまでリリースされたCDは、文化庁芸術祭レコード部門優秀賞、国際F.リスト賞レコードグランプリ最優秀賞等栄えある賞を受賞。エリザベト音楽大学客員教授、名古屋芸術大学特別客員教授、日本パデレフスキ協会会長。2020年はショパン国際コンクール入賞から30年、2021年はデビュー30周年の節目を迎える。

エリザベト音楽大学合唱団 Elisabeth University of Music Choir

エリザベト音楽大学合唱団は、同大学交響楽団と共に毎年開催される定期演奏会及びチャリティクリスマスコンサートをはじめ、西日本各県、東京等各地で演奏を行っている。2017年8月にはハノーファー音楽週間とベルリンでのヤング・ユーロ・クラシック音楽祭に参加し、細川俊夫作曲「星のない夜」を披露した。これまで、広島交響楽団との共演、大学によるラテン語宗教合唱曲委嘱(松下耕、信長貴富、千原英喜、ステュー・ドプロゴスの各氏)作品の初演、RCC第九ひろしまの合唱団参加等がある。主な指揮者・指導者はエルネスト・ゴセンス、ホセ・テホン、井上一清、増田順平、秋山和慶、水嶋良雄、榊原哲、寺沢希の各氏。

ひろしまオペラルネッサンス合唱団 Hiroshima Opera Renaissance Chorus

ひろしまオペラ・音楽推進委員会の専属合唱団として1998年に発足。団員すべてが豊かな表現力と優れたアンサンブル能力を併せ持つ「魅せて、聴かせる」合唱団を目指し、週に一度、歌や演技の研鑽を重ねている。これまで合唱団独自の演奏会を行う一方、1998年からひろしまオペラルネッサンスの「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「じゅごんの子守唄」「コジ・ファン・トゥッテ」「こもり」「蝶々夫人」「魔笛」「修道女アンジェリカ」「フィガロの結婚(東京公演)」「カルメン」「椿姫」「カルメル会修道女の対話」「ラ・ボエム」「遣唐使」「イル・カンビエロ」「イドメネオ」や細川俊夫作曲「松風」等に出演。

次回演奏会

2020.6.13土

第401回定期演奏会

広島文化学園HBGホール 15:00開演 [14:00開場]

ニーノ・ロータ:ハープ協奏曲

Nino Rota: Harp Concerto

ブルックナー:交響曲第1番ハ短調 WAB 101 (リンツ稿)

Bruckner: Symphony No.1 C minor, WAB 101 (Linz Version)

下野らしい、おしゃれで、かつ、シブくてカッコイイプログラムだ。ニーノ・ロータは下野が2018年にアンサンブル金沢で演奏し好評を博した演目。それにブルックナーを合わせるという大胆さはどうだろう。2017年の就任での第8番から第6番、第5番に続いて「第1番」に回帰する。この熟慮の末に行き着いたプログラムは広響と共に歩み成長する下野自身への問いかけとなる。



指揮/下野竜也
Conductor: Tatsuya Shimono



ハープ/吉野直子
Harp: Naoko Yoshino